

西日本豪雨災害に係る本院 DMAT（災害派遣医療チーム）の救護活動について

この度の西日本豪雨災害において犠牲になられた方々に衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災をされた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

神戸大学医学部附属病院（以下、神大病院）は平成 30 年 7 月 8 日（日）の災害派遣医療チーム（DMAT）派遣依頼を受けて、平田病院長、小谷救急部長（神戸大学都市安全研究センター教授併任）の指示の下、直ちに院内災害対策本部を立ち上げると共に、平成 30 年 7 月 9 日（月）から平成 30 年 7 月 11 日（水）の 3 日間において、被災地へ DMAT（災害医療支援チーム）を派遣いたしました。本活動について、以下にご報告させていただきます。

- 活動期間 平成 30 年 7 月 9 日（月）～平成 30 年 7 月 11 日（水）（3 日間）
- 活動場所 岡山大学病院（岡山県県南東部医療圏活動拠点本部）、岡山県真備町、総社市
- 派遣メンバー 医師 1 名 看護師 2 名 業務調整員 1 名 計 4 名
- 活動内容 活動拠点本部での搬送調整活動
総社市内、真備町内避難所のアセスメント、診療活動
倉敷市保健所への報告
- 活動内容の詳細

平成 30 年 7 月 8 日（日）18 時 45 分 兵庫県医務課から兵庫県の DMAT チームに向けて岡山県への派遣要請がありました。神大病院では、病院長、救急部長の指示の下、直ちに院内災害対策本部を立ち上げ、DMAT チームの派遣を決定しました。同日 20 時には正式に兵庫県より派遣決定の連絡があり、資機材の準備と DMAT 派遣メンバーの組閣を行い、7 月 9 日 5 時 30 分、指示された岡山大学病院（岡山県県南東部医療圏活動拠点本部）へ向け DMAT カー（緊急車両）で出発しました。

当初は本部活動を行っておりましたが、7 月 9 日 16 時頃に、被害の大きい県南西部へ移動するよう依頼を受け、活動本部を川崎医科大学病院（岡山県県南西部医療圏活動拠点本部）へ移すことになりました。

川崎医科大学病院到着後直ちにサンワーク総社（避難所）での活動を指示され、直ちに現地に急行し、他チームと協働し、避難所のアセスメントや患者搬送を行いました。

7 月 10 日は 9 時から倉敷保健所で開催されたミーティングに参加し、総社地区の公民館のアセスメントを行うよう指示を受け、100 名を超える避難者の方がおられる公民館を回りました。活動拠点本部も倉敷保健所へ移行となり、7 月 11 日も倉敷保健所にて指示を受け、総社地区の避難所で他チームと協働し、診療活動、避難所アセスメントを行いました。

7 月 11 日 15 時に倉敷保健所へ報告をし、撤収の指示を受け、7 月 11 日 20 時に当院へ帰院。活動を終了しました。

